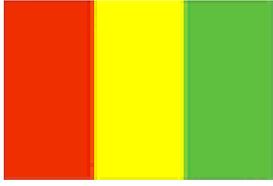


～コミュニティ訪問ガイド～



ギニア



Republic of Guinea



ギニアは西アフリカの物と人の交流点です。大規模マーケットは西アフリカでも有数で、周辺各国から集まる人々に出会えます。国立博物館へ足を運ぶと、ギニアで暮らすさまざまな民族の生活・習慣や歴史を知ることができます。「西アフリカのスイス」とも称されるフータ・ジャロン山地は見所のひとつです。ヨーロッパにアフリカの音を広く伝えた音楽大国ギニア。伝統打楽器ジェンベは、その音やリズムで病気をいやし、人々や自然の精霊たちと会話できるといわれています。



正式国名：ギニア共和国

首都：コナクリ

人口：1,386万人（2022年 世銀）

時差：日本より9時間遅れ

言語：フランス語、
各民族語（プル、マリンケ、スूसー等）

通貨：ギニアフラン（GNF）

宗教：イスラム教、キリスト教、伝統的宗教

産業：農業（米、キャッサバ）、鉱業（アルミナ、
ボーキサイト、金、ダイヤモンド）

現地までの行き方

日本 ~ ギニア (コナクリ Conakry)

日本からの直行便はありません。パリやドバイ経由などで、首都コナクリにあるコナクリ国際空港へ向かいます。空港からホテル地区までは、タクシーをご利用いただけます。所要時間は交通状況により 15~45 分ほどかかります。タクシーをご利用される場合には、乗車前にドライバーと料金を交渉ください。



コナクリ市内 ~ 現地事務所

- #1049 リトラル (Littoral)
- #1046 キシドゥグ (Kissidougou)
- #1047 マチェンタ (Macenta)

コナクリから各活動地域までは変化に富んだ、美しい風景がつづきます。道沿いには多くの町や村があります。車の状態や天候により異なりますが、約 8 時間のドライブとなります。

コナクリから各現地事務所までは次の交通手段があります。

- * **プランの車** : 現地事務所の車で、ご宿泊のコナクリのホテルへお迎えに行き、現地事務所までお連れします。
- * **乗合タクシー** : プランの車が使用できない場合、乗り合いタクシーをご利用いただくことがあります。タクシー料金は訪問者にご負担いただきます。

現地事務所 ~ チャイルドのコミュニティ

現地事務所からチャイルドの住むコミュニティまでは、現地事務所が車でご案内いたします。

訪問に適した時期

ご訪問のベストシーズンは 12 月~6 月です。7 月~10 月は豪雨が続き、道路状況が悪くなりますので旅行には適していません。ご訪問は避けたほうがよいでしょう。コナクリの気候は概ね温暖ですが、活動地域では夜に備えて薄手のジャケットをお持ちになると良いでしょう。

周辺地図



現地事務所の業務日 / 時間

月曜～木曜：8：00～17：15

金曜：8:00～13:00

*土・日のご訪問も対応可能ですが、宗教の祝祭日、夏季休暇と年末年始のご訪問はお受けしていません。

ギニアの主な祝祭日

1月1日	新年	8月15日	聖母被昇天祭
4月1日	*イースター	10月2日	独立記念日
5月1日	メーデー	10月29日	*モハメッド生誕祭
5月24日	*Eid-al Fitr (断食明けの祝祭日)	11月1日	諸聖人の日
7月31日	*Eid-al Adha (犠牲祭)	12月25日	クリスマス

※ *マークは年によって日にちが変わります。上記はある年の例です。

言語

観光業に従事する人々はフランス語を話し、英語も少々話します。タクシーの運転手は、フランス語を話します。一般の人々は、現地語を話します。

***現地では職員が英語でご案内します。**日本語通訳の手配をご希望の際は事前にお申し出ください。

通訳料は実費をご負担いただきます。なお日本語通訳のレベルが十分でない場合や、通訳の手配ができない場合もあることをご了承ください。

両替・銀行・クレジットカード

空港に到着されたら、手持ち通貨の申告書(到着前に機内で配られる“Declaration de Devise”)を提出し、入国審査で申告書のコピーが渡されます。このコピーは出国の際に外貨両替の証明となります。国内で外貨を両替される時は、銀行やホテルなどの公認の両替所をご利用ください。公認の両替所で外貨両替を行うと、両替の分だけ申告書に印を押してもらえます。街頭での両替は、偽造紙幣や法外レートなどのリスクがあるため、お勧めできません。ユーロか米ドルのトラベラーズチェックをお持ちになることをお勧めします。なお、クレジットカードはあまり使われていません。

現地スタッフとの待ち合わせ

原則として、現地事務所に直接お越しいただきますようお願いいたします。ホテルが現地事務所から近くで前もってお知らせがあれば、現地職員がホテルまでお迎えに上がります(事務所の住所はご出発前にご連絡します)。

宿泊

各地域のホテルを以下のようにご案内いたしますので、コミュニティの起点となる都市でのご宿泊手配をお願いいたします。ウェブサイトが無いなど、ご自身でのお手配が難しい場合はご相談ください。

コナクリのホテル一覧

Name	Address & Telephone
Palm Camayenne Hotel	Corniche N Conakry, Conakry http://www.palmcamayenne.com/en/hotel-overview.html
Riviera Taouyah Hotel	Taouyah Corniche, Conakry https://www.rivierataouyahhotel.com/
Riviera Royal Hotel:	Tombo, Kaloum, Conakry https://rivieraroyalhotel.com/
Millenium Hotel	Quartier Landréah Commune de Dixinn BP 1940 Conakry, https://milleniumsuites.com/
ONOMO Hotel Conakry	Corniche Sud en face des jardins du 02 octobre, à coté de la Residence 2000 https://www.onomohotels.com/

リトラルのホテル一覧

Name	Address & Telephone
La Maison Blanche de Coyah	Coyah Somayah, A 150 mètres de la route nationale 1.,Coyah,
Hacienda Hotel	Commune de Coyah Quartier Doumbouyah laforet,
Hôtel BEN BEN Coyah	SOMAYAH MOSQUEE/ COYAH 00224 Guinea Coyah

キシドゥグのホテル一覧

Name	Address & Telephone
Hotel Fritz Foster Kissidougou	
Zephyr Hotel	Kissidougou 224
EGTHOR Guinée Hotel	
Rama Hotel	

マチェンタのホテル一覧

Name	Address & Telephone
Macenta Hotel	
Residence 15 15 Hotel	

現地の習慣・留意事項

- 身分証明書（外国人の場合は旅券）の常時携帯が義務づけられています。滞在中は常時パスポートを所持してください。パスポートの点検が町中で度々行われます。
- 現地事務所では、訪問者のギニア国内旅行を円滑にする“Mission Order”（特別許可証）を発行します。そのため、訪問者の姓名、国籍、到着と出発予定を事前に把握しておくことが必要になります。
この許可証は訪問者がコナクリに到着されたときに現地職員からお渡しいたします。
旅行中はこの許可証も必ず所持してください。
- 夜間の外出禁止令がしばしば発せられます。到着時にご確認ください。
- コナクリ市内および道路では写真を撮らないでください。
- コミュニティの子どもたちや住民の写真・ビデオ撮影の際は、事前に本人もしくは保護者、プラン職員に承諾を得てください。
- マラリア発生地域です。予防対策は十分にされることをお勧め致します。
- 盗難にはご注意ください。
- 生水はお飲みにならないようご注意ください。
- チャイルド訪問時は華美にならない服装でご訪問ください。男性はズボン、女性は肩を出さない服装で、ショートパンツや膝上の出る服装はご遠慮ください。また、動きやすいスニーカー、布製のショルダーバッグ、リュックなどが良いでしょう。
- コミュニティ周辺では日没後、気温が下がります。薄手のジャケットやカーディガンをご用意ください。
- ギニア人は一般的に温厚で人見知りもあまりしませんが、チャイルドやコミュニティの住民の中には、なかなか話しづらい人もいます。訪問前に、手紙や報告書を読み返し、こちらからも積極的に質問や話題を用意されていくことをお勧めします。
- 現地の法律を遵守ください

- チャイルドと家族とは、自宅ではなく、コミュニティの中の学校や集会所など公共の場で面会・交流いただけます。
- チャイルドをコミュニティから連れ出すことや、コミュニティでのホームステイはできません。
- ファミリーから現金や物を要求するような発言があった時、現場での説明、通訳、諸費用の支払いについて問題をお感じになった場合は、その場で現地職員に伝えてください。
- あらゆる種類の麻薬の売買・所持、および子どもとの性行為は厳罰に処せられます。
- 撮影した写真や動画を個人利用以外にソーシャルメディア(SNS)やインターネットへの投稿、印刷利用等される場合は、事前にプラン・インターナショナルが確認させていただきます。お断りする場合がありますのでご了承ください。チャイルドや家族など、個人が特定されるのを防ぐため、掲載いただけない情報があります。
- お互いの個人住所や連絡先、SNSのアカウント等の交換はできません。

渡航前の準備

- パスポート（残存期間 6 ヶ月以上必要）、e ビザの申請が必要です。最新の情報は駐日ギニア共和国大使館でご確認ください。
- 海外旅行損害保険には必ずご加入ください。
- 入国審査では、黄熱病予防接種証明書（イエローカード）の提示が求められます。
- ギニア入国前に、マラリア予防薬の服用、黄熱、破傷風、A型及びB型肝炎、腸チフス、髄膜炎、狂犬病の予防接種が推奨されています。詳しくは医療機関や下記外務省の情報等でご確認ください。
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/africa/guina.html>
- 訪問時に、見たいこと聞きたいことなどが具体的にありましたら、「訪問同意書」などで事前にプラン事務局までご相談ください。
- 渡航先の安全に関しては外務省の情報等でご確認ください。
 - ◇ 外務省領事サービスセンター（海外安全相談班）：（代表）03-3580-3311（内線 2902、2903）
 - ◇ 外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>
 - ◇ 海外渡航者のための感染症情報：http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html
- 連絡先のリストをお忘れなくお持ちください。現地事務所の連絡先は出発前にお知らせします。

チャイルドにおみやげを持っていく場合

- ご訪問いただくこと自体が、チャイルドや家族にとっては大きなプレゼントですので、お気遣いのないようお願いします。
- 現地での購入もできます：プランとしては、現地経済への貢献などを考えて現地での購入をお勧めします。文化・習慣の違いなどもありますので、事前にご相談ください。現地職員と共に購入する場合、現地職員は好まれる品物を紹介はしますが、購入は義務ではありませんのでご予算の範囲内でお買い求めください。
- 日本からお持ちになる場合は、通関等の問題にならない範囲でご検討ください。**同一商品を数十個以上の単位で持ち込むことは通関等でトラブルになる可能性があります**。万一、課税される場合は訪問者の負担になりますのでご注意ください。
- 高価なおみやげはご遠慮ください：チャイルドが健やかに育つには、地域全体の生活向上が不可欠です。あるチャイルドや家族だけが高価（貴金属、電子機器など）なギフトをもらうことにより、地域の調和を乱してしまうおそれがあります。
- コミュニティには他にも多くの子どもたちがいることにもご配慮ください。

◎適切なギフトの例：

- 知育玩具、絵本、パズル、世界地図など
- 学用品（鉛筆、クレヨン、ノートなど）
- 日用品（石けん、歯ブラシ、タオル類など）
- グループで一緒に遊べるもの（ボール、風船など）
- 日本の文化を紹介できるもの（折り紙、人形、コマ、日本の絵葉書など）
- 大勢で分けられるもの（筆記具、飴、グミなど）

×不適切なギフトの例：

➤ 現金（いかなる場合も渡さないでください）

- 変質しやすく、食中毒を起こす可能性のある食べ物や、口にすると危険な乾燥剤の入っている包装菓子など
- 現地では高価なもの（電気製品、時計、使い捨てカメラなど）、電池を使うおもちゃ
- 中古品（汚れや破れのある古着、使い古しの学用品）
- 宗教的な意味合いのあるもの
- その他（翻訳が必要な本、薬、好き嫌いのある和菓子など）

もっと詳しい情報はこちらで！

*ギニア共和国大使館 〒150-0035 渋谷区鉢山町12-9 TEL：03-3770-4640

*外務省 国情報 ホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/guinea/index.html>

*在ギニア日本大使館 ホームページ <http://www.gn.emb-japan.go.jp/j/>